質疑並びに一般質問

個人質問

5日間にわたり、次の14人の議員が質問しました。
なお、この記事は各議員が作成しています。

柏清風

古川隆史

●総合計画について

問 事業の優先順位を総合計画に盛り込むとしているが、どのような形を考えているのか。

答 施策に優先順位をつけるための物差しをどのように定めるのかは、かなり難しい作業であるが、10年後を見据えながら価値観を定め、現状をしっかり分析し、説明が明確に提示できるよう、計画書の構成を心がけて策定作業を進めていく。

●福祉政策について

問 介護保険に関連して、地域支え合い体制整備研究会をつくり、日常の困りごとへの対応を検討するとしているが、ごみ出しやごみ当番等は、高齢化が進み大変であるという声を聞く。今回の介護保険の制度改正に合わせて、各地域の現状把握が必要と考えるが。

答 介護保険法の改正によって地域支援事業の中に生活支援体制整備事業が新たに位置づけられ、市町村による積極的な政策の推進が求められるようになっている。柏市社会福祉協議会と協働して研究会を設け、ごみ出しのような身近な生活支援について、地域の担い手づくりや運営体制等、どの地域にも共通する課題を検討するとともに、行政による効果的な支援策についても、この研究会の重要な検討課題であると認識している。

後藤浩一郎

●市立病院

問 現地に病院を残し、市内の医療提供体制のバランスを保っていかねばならない。そのためには経営基盤の強化が必須である。医事専門の事務職員を配置し、病床稼働を上げるために救急をもっと受け入れるべきである。また、新病院計画の柱は小児二次救急であるが、不確実なことが多過ぎる。40床は過大ではないか。小児科医の確保は将来にわたって継続的に可能なのか。

答 病院の人事は、医療公社の裁量であるが、医事に精通した者を配置することは重要である。救急は当番日以外の体制が弱いので強化していきたい。新病院計画は凍結しているが、小児病床数はニーズや他の病院の体制を鑑み慎重に検討する。医師の確保は研修や労働環境の整備等、市の取り組み次第である。

市立柏病院

●契約事務

問 建築費が高騰している。直近の設計労務単価の推移はどうか、公には事業をする上で収支という観念がない。病院の再整備等の大きな事業は建築予算の上限を定めるべきでは。

答 24年度は前年比約1％、25年度は約15％、26年度は約7％、直近ではさらに約4％上昇している。契約事務は、積算や契約の仕方等、できるだけ効率的になるよう努めたい。

村田章吾

●新たな財源の確保に向けて

問 「ふるさと納税」制度が根づきつつある。1000を超える自治体が特典を用意し、制度を活用した納税は毎年100億円以上に上る。千葉県でも船橋市等28の自治体が特典を設けている。国立市では歴史ある旧駅舎再建のために、同制度を活用した寄附の募集が行われている。国による控除額拡充の動きも無視できない。本市も特典の付与を含めた対応の検討が必要では。

答 現在本市では寄附をいただいた方に特産品等の特典の付与は行っていないが、地域活性化につながる特典を設置することは、一つの有効な方法であると認識している。ふるさと納税の拡充促進に向けて検討を行いたい。

●防災施策の強化に向けて

問 首都圏の自治体で富士山の噴火を想定した防災計画の改訂、運用が始まっている。噴火による降灰で車の利用は不可能となり、灰の除去や仮保管にはさまざまな準備が必要であると伺っている。本市においても対応策の検討が必要では。

答 本市でも富士山の噴火による市民への健康被害、予想されるリスク等について検証を行う必要があると考える。もろもろの対策について防災計画への掲載も含め、検討をしていきたい。

円谷憲人

●JX-ENEOSサンフラワーズのホームゲーム再開を

問 ホームタウンチームの一つ、女子バスケットボールのJX-ENEOSサンフラワーズの試合が柏で開催されない。市の考えは。

答 JX-ENEOSサンフラワーズは本市の知名度やイメージアップに大きく貢献している。ホームゲーム再開の可能性についてしっかり調整していきたい。

●福祉行政の中核・地域包括支援センターの支援強化を

問 地域包括支援センターを新たに2施設増設するとのことだが、同時に既存施設への予算拡充など、さらなる支援を求める。

答 機能の強化や必要な予算措置等を図りながら適正な運営を支援していく。

Wリーグ優勝を果たしたJX-ENEOSサンフラワーズ

●市立病院、現地建てかえの場合の経営への影響

問 市立病院を現地で建てかえた場合、病院経営に影響はないのか。

答 平成13年の改修工事の際には、約15％入院患者が減少した。ローリング方式での工事は来院者、病床数の減少により相当な収益面への影響が危惧される。

問 その間、医師や職員の数は維持できるのか。

答 建てかえを行っている間、医師や職員の数をそのまま維持することはできない。

政和会

上橋泉

●市立病院の移転問題

問 今回は移転理由の具体的な質問はしない。市長は周辺の付加価値とか新しい病院は新しい土地でとか、抽象的な説明を繰り返すばかりで議論が全然かみ合わないからだ。小児救急を始めることは現在地でもできる。医療制度改革が現在地での存続を困難にしているという事情もない。市長を移転に突き動かした根源的な原因がどこか別にあるように思う。その要因は平成25年の中期構想から平成26年の整備方針の間に発生したのではないか。この間には市長選挙もあった。一体何があったのか。

答 市立病院建てかえの本来の目的は現在抱えている課題を克服し、市民の安全な生活に寄与する新病院に整備することである。現在の市立病院が担っている二次医療と一次医療の二つの機能を整理して、新たな公立病院として整備することが必要と考える。病院は柏北部中央地区への移転により、現地には診療所を選択することが、その実現性を高めてくれると判断した。

市民サイド

宮田清子

●旧吉田家住宅歴史公園

問 旧吉田家住宅歴史公園の指定管理に2団体の応募があり、本市の外郭団体みどりの基金に決定されたが、候補者選定委員会でサービスの向上と効率的な管理で評価され、1400万円安く提案した民間の団体のほうがよかったのではないか。

答 管理を安定して行う能力など、総合的に勘案し評価した結果、みどりの基金を選定した。

問 25年度みどりの基金の収入を見ると、本市からの補助金等が82％で、自主事業の収入は5％にすぎない。これで財政基盤が安定していると言えるか。

答 会計士から財政基盤の安定について報告を受けている。

●駐輪場の申し込み方法

問 柏駅東口第5駐輪場は、申し込み方法を抽せんにしたり、先着にしたり、ころころ変えているのは問題だ。26年度分は抽せんだったが、27年度分を先着順にした理由は。

答 先着順に戻してほしいと多くの声が寄せられたことと、抽せん倍率が低いためである。

問 要望は何件あったか。

答 メール等は5件ほどだが、口頭では多かった。申請者に聞き取り調査をしたら、先着順の希望が抽せんの4倍あった。

問 申請者は380人だが、何人に聞き取りをしたのか。

答 28名である。

請願・陳情の方法

行政などへの要望を「請願」「陳情」として文書で議会に提出することができます。

●請願　本会議・委員会で審議されます。内容に賛同する紹介議員（柏市議会議員）の署名か記名押印が必要。

●陳情　全議員へ写しを配付しますが、審議はされません。紹介議員は不要。

●提出方法　任意の用紙に代表者の住所・氏名（ふりがな）・電話番号を記入し、押印の上、件名、具体的趣旨、説明または理由などをわかりやすく記載して議会事務局へ直接お持ちください。場所を示す場合は地番を明示し、「図面」を添えてください。

※署名簿は、各自が住所・氏名を自署。

※随時受け付けておりますが、請願は、定例会ごとに招集日の午後5時を締め切りとしています。